

# 「宮本牧場」ビジネスプラットフォーム

## コンセプト

たくさんの人に、生産者が育てた  
安心で美味しい牛・豚肉を低価格で食べて欲しい。

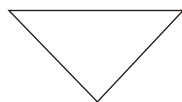


## 国産「和牛」の現状

毎年、小・中規模の畜産農家が廃業し、牛の個体数・生産量が年々凄いスピードで減少しており、農林水産省が平成25年に公表した「畜産統計」によると、平成5年に約200,000戸あった肉用牛飼養戸数も、平成26年には、61,300戸にまで減っています。

日本で育てられた牛たちは、私達日本人が世界に誇れる素晴らしい「和牛」というブランドです。しかし、このままいくと10年、20年後には日本で「和牛」が食べられなくなるのではないかとされるほど、現在の食牛業界では後継者不足問題や、中・小規模な牧場の経営難が深刻な問題を抱えています。

更に、近年アジア・ヨーロッパでも霜降り和牛が人気のため、日本の市場でも牛の値段が高騰しています。近い将来、和牛が日本で食べられなくなる日が来るかもしれません。



そこで、「六次産業(生販直結モデル)」の事業展開を通じて、第一次産業の活性化及び高品質低価格の実現による、食産業における生産者・販売者・消費者のALL-HAPPYの達成を目指します。

